

# 社会科学習指導案（地理的分野）

## 1 単元名

「まつりから見える、東北地方の地域的特色」

## 2 単元について

### （1）単元観

本単元で扱う東北地方は、本州の北部に位置する南北に長い地域である。長らく政治の中心であった近畿地方からは遠く離れていたため、歴史的に見て政治の影響力は小さく、古くから「みちのく（道の奥）」とよばれてきた。国土面積の約 2 割をしめる広大な土地をもつ一方で、人口の割合はわずか 7%にとどまっている。これは、東北地方の自然環境によるものが大きい。冬の厳しい気候と南北に連なる奥羽山脈に阻まれ、他地域との交流はあまりなかった。それゆえ、豊かな自然が今なお残っている。世界自然遺産に登録された白神山地をはじめ、美しい自然を堪能できる地域が各地に見られる。また、温泉も豊富で、地熱発電もさかんである。

東北地方では広大な土地を活かして、さまざまな産業が行われてきた。農業では、仙台平野や庄内平野は、日本有数の稲作地帯となっている。青森県のりんごや山形県のさくらんぼ、福島県のももなど、扇状地等を利用した果樹栽培もさかんである。また、水産業では、三陸海岸をはじめとして豊かな漁場にめぐまれたことや、リアス海岸を利用した養殖業もみられ、水産物の生産量も多い。このように、さまざまな食料を生産する食料基地としての役割を担ってきた地域である。

一方で、他地域に比べ工業の発達が遅れた東北地方では、高度経済成長期に多くの若者が労働力として東京に出稼ぎに出ていた。しかし、近年は東北自動車道や東北新幹線の開通によって、東京大都市圏との交通の便が飛躍的によくなり、人の移動だけでなく、物資の輸送もしやすくなった。このため、高速道路沿線を中心とした地域に自動車や半導体などの工場が多く進出している。

本単元では、学習指導要領「地理的分野」の「2 内容」の「（2）日本の様々な地域 ウ 日本の諸地域（カ）生活・文化を中核とした考察 地域の伝統的な生活・文化に関する特色ある事象を中核として、それを自然環境や歴史的背景、他地域との交流などに関連付け、近年の都市化や国際化によって地域の伝統的な生活・文化が変容しているところなどについて、考える」に対応した学習を展開したい。そこで、中核となる事象として、東北地方で行われている祭りに着目し、地域的特色をとらえさせていく。長い間継承されている伝統行事としての祭りは、由来や儀式的意味合いがその土地の自然環境や産業など、様々なものと深く関わっているといえる。

例えば、宮城県の「仙台七夕祭り」は、農業と密接に関わっている祭礼である。旧暦の7月7日は、先祖を祀るためのお盆に入る前に、禊ぎをして心身を清めるための日とされていた。また、ちょうど稲が開花期に入るとともに、風水被害や病中害の襲い掛かってくる季節でもあるため、神に祈るようになった農民行事が、七夕祭りの起源と言われている。「青森ねぶた祭り」、「弘前ねぶた祭り」はともに、忙しい夏の農作業の妨げとなる眠気や怠け心などを流す「眠り流し」という農民行事から生まれたとされている。灯籠流しにも似たこの行事も、起源は七夕祭りであるといわれる。秋田竿灯祭りも「眠り流し」に加え、提灯を稲穂に見立て米の豊作を願ったことが起源とされ、農耕文化とともに始まった祭礼である。

岩手県のチャグチャグ馬コは馬を色鮮やかに着飾って行進する祭りで、農耕馬に感謝する200年以上続く伝統行事である。チャグチャグ馬コを【産業】の視点から見てみると、農耕馬として農業に

欠かせない馬をととても大切にする風習がみえてくる。岩手県では、曲り家と呼ばれる特徴的な家屋がみられる。これは、土間と厩が続いた造りになっており、寒さの厳しい冬場でも暖かい空気を厩に送れるようになってきている。東北地方は軍馬や農耕馬の一大生産地で、畜産がさかんであることにつなげることができる。さらに、福島県の相馬野馬追は、平将門が野生馬を放し、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったことが始まりといわれている。その後、相馬ではそれが神事として継承されてきた。この祭りからは東北地方の【歴史】に着目することができよう。

また、山形花笠まつりは大正8年から続く伝統行事であり、ため池工事の土突き唄に八木節などが合わさって現在のパレード式の踊りになった。ここで使われている笠には県の特産品である紅花を模した飾りがついている。ここからも【産業】という視点にもつなげることができる。

祭礼は夏に限られたことではない。八戸の「えんぶり」と呼ばれる祭りでは、雪の降る中、馬の頭をかたどった烏帽子をかぶり、頭を大きく振ってその年の豊作を祈願する田植え踊りを行っている。冬に眠っている田の神を揺さぶり起こし、田に魂を込める儀式として鎌倉時代から伝えられており、国の重要無形民俗文化財に指定されている。わざわざ冬にこの行事を行うのは、それだけ春に行う田植えを大切に考え備えているといえる。このように、祭礼からはさまざまな視点で東北地方を眺めることが可能である。

第一時では、東北地方を大観する活動を行う。自然、人口、おもな産業を資料から読み取り、白地図をつかって東北地方のおおまかな姿をとらえさせる。次に、関東地方と東北地方の資料図を比較させる。既習した関東地方の資料図には見られないまつりの絵図が、東北地方にはたくさんあることに気付かせる。まつりは東北地方の大きな特色であり、単元の中核となるテーマであることを理解させる。

本時となる第二時は次のように構成する。導入で、生徒から身近な地域の祭りのイメージをあげさせる。次に、教科書には載っていない八戸の「えんぶり」を映像で見せ、地域の祭りとは様子が違うことに気付かせて学習課題を提示する。参加人数の違いから規模の大きさ、「えんぶり」との様子の違いに着目させて、学習課題への関心を高めさせたい。展開の前半では、ブレインストーミングを用いて各まつりの資料から共通点をたくさんあげさせる。後半にはその共通点をKJ法を用いて分類する。それらの共通点を、【自然】【産業】【人口】【歴史】【他地域との結びつき】の5つの視点から考察し、説明させる。例えば、「夏に行われている」という共通点が出たら、「なぜ夏に行われているのか」を視点から説明してみる。「自然」の視点から説明すると、「冬季は雪で覆われ活動できない」ことや、「米の収穫の前に祈るため」といった仮説を立てることができる。視点を変えて【産業】から説明すると、「夏休みを利用して観光客が多く訪れるから」といった仮説が予想できる。ここでは、授業者が「なぜこのような共通点がみられるのか」を考えるための補助発問を準備し、生徒がスムーズに思考に入ることができるよう支援する必要がある。東北地方の祭りからあがった共通点と視点を組み合わせるとさまざまな面から東北地方を考察し、東北地方の特色につながる仮説をたてさせ次時につなげていく。まだ仮説の段階なので、既習した知識や生徒の経験をもとに、自由に発言できる雰囲気づくりに留意する。

第三時は、前時にたてた仮説を検証する時間とする。祭りを切り口に、東北の気候、東北の農業、東北の工業などを調べる班があり、図書資料を用いて調べる中で東北地方の地域的特色をつかませたい。例えば、前時で「豊作を祈っている」という共通点を【産業】の視点からみて「農業に不向きな土地だから、豊作を祈っている。」と仮説をたてた班は、「東北地方の農業はどのようなものか」を調べ、仮説を検証する。調べていく中で、新田開発や品種改良が行われて発展してきた稲作や、扇状地

を利用した果樹栽培がさかんであるという事実をつかむ。気候や地形が農業に適しているとは言えない環境で、人々の努力で農業がさかんに行われていることから、祭りはその豊作を願うために行われているという祭りとの関連性を明らかにさせる。

もう1つ例をあげる。「人出が多い」という共通点を【他地域との結びつき】からみて「交通網が発達して東北を訪れる人が増えた」と仮説をたてた班は、「東北地方の交通網の変化」について調べる。東京の上野と青森を結ぶ東北本線や、福島ー青森間を結ぶ奥羽本線が東北地方の人々の重要な交通手段であったのに取って代わり、東北新幹線、山形新幹線、秋田新幹線が開通したことで、東北地方の人々は他地域に出やすくなった。同時に東京方面から東北を訪れる観光客数が増え、東京大都市圏との結びつきが強まったことをとらえる。

第四時では、検証した内容をグループごとに発表し、そこから東北地方の地域的特色を見いだしていく。祭りから見た東北地方のそれぞれの視点からは以下のようなことを読み取らせたい。【自然】【産業】の視点からは、冬の厳しい寒さと豪雪により、短い夏に祭りなどの活動が集中するという事、夏のやませの影響を受けて冷害が起こるため、豊作を願う気持ちが強くなること、山脈に阻まれて東西の交流があまりなかったために独自の文化や祭りが発展したこと、稲作には不向きな環境から、畜産がさかんに行われ馬と関わり深い祭りが生まれたことなどが考えられる。【歴史】【人口】【他地域との結びつき】【産業】からは、工業の発展や東京への一極集中の動きの中で人口が減少し、祭りには地域活性化の意味合いも含まれるようになったこと、東北新幹線をはじめとする高速交通網の発達で、多くの観光客が東北地方を訪れるようになり、観光業が盛んになっていることなどが考えられる。ここから、東北地方の地域的特色は、厳しい自然条件にありながら、豊かな自然をいかした産業を発展させ、伝統や技術を受け継いできた地域だとまとめることができる。このようにして、動態地誌的に祭礼を通して東北地方の地域的特色をとらえさせていきたい。

### 3 単元の目標

- (1) 東北地方の伝統的な生活・文化に興味を持ち、主体的に調べることができる。(関心・意欲・態度)
- (2) 東北地方の祭礼を中心に、さまざまな視点から東北地方の地域的特色を考察する。(思考・判断・表現)
- (3) 東北地方の地域的特色について、資料や図から読み取り、まとめることができる。(技能)
- (4) 東北地方の伝統的な生活文化を通して、東北地方の自然環境や産業、歴史や他地域との関わりなどを理解することができる。(知識・理解)

### 4 単元の指導計画(4時間扱い)

時	主な学習内容	指導や支援の手だて ◇評価
1	東北地方をながめてみよう ・教科書や地図帳を用いて、白地図に東北地方の気候、地形、人口、おもな産業を調べる。 ・地図帳で東北地方と関東地方(既習)を比較し、東北地方に多い記号や絵をワークシートに書き	・地形と気候の特色とともに、それに関連した土地利用にも着目させておもな産業をとらえさせる。 ◇雨温図や人口分布の資料を読み取り、考察することができたか。(観察・ワークシ

	出し、中核となる事象が祭礼であることに気付く。	ート)
2 本 時	なぜ大きな祭りが各地で行われているのだろう① ・グループごとに祭りの共通点を探す。 ・6つの視点から祭りが行われている理由を説明する仮説をたてる。	・KJ法を用いることで、生徒の意見が次時の調べ学習の視点につながるように工夫する。 ◇共通点を見つけ、仮説を立てられたか(観察・ワークシート)
3	なぜ大きな祭りが各地で行われているのだろう② ・視点から祭りを説明するために、東北地方の気候、農業、工業、歴史、人口、他地域とのつながりの様子を詳しく調べる。 ・図書室で資料を探し、仮説を検証する。	・具体的なデータが載っている資料を用意する。 ・昔と今が比較できるよう、年代の異なる同じ資料図を用意するなど工夫する。 ◇意欲的に調べ学習に取り組めたか(観察)
4	4. 東北地方の特色をまとめよう ・グループごとに発表する。 ・発表の内容をもとに、東北地方の地域的特色をワークシートにまとめる。	・振り返りができるよう、板書を工夫して各視点のまとめをわかりやすく提示する。 ◇調べた内容をわかりやすく説明できたか。(発表) ◇東北地方の地域的特色を自分の言葉でまとめられたか。(ワークシート)

## 5. 本時の目標と展開

### (1) 本時の目標

- ① 東北地方の祭礼に関心を持ち、意欲的に学習している。(関心・意欲・態度)
- ② それぞれの祭りの特色を資料から読み取り、共通点を探ることができる。(技能)
- ③ 東北地方の祭りの共通点について、5つの視点から考察し、仮説をたてることができる。(思考・判断・表現)

(2) 本時の展開

時	○学習内容・生徒の活動	指導上の留意点 (○) および評価 (◇)
導入 7分	<p>○前時の復習として祭りを中核として東北地方を学習することを確認し、身近な祭りとして東北の祭りを比較する。</p> <p>・「えんぶり」の映像を見て、何をしているか予想する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(予想) ・踊ってる ・劇を演じている</p> </div> <p>・地域のまつりの印象や参加者人数を予想する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>地域まつり→地域の人が集まって踊る。盛り上がる。 参加人数 →5,000人</p> </div> <p>・「青森ねぶたまつり」の映像を見て、真砂祭りと比較する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ねぶたまつり→人が多い。大きな人形が出てくる。 参加人数 → 300万人</p> </div> <p>・東北地方の祭りの分布図を見て、大きな祭りがたくさん行われていることに気付く。</p> <p>○学習課題を設定する。</p>	<p>○「えんぶり」も祭りのひとつであることを説明する。</p> <p>○地域の祭りをイメージさせて、東北の祭りの規模を考える基準にする。</p> <p>○地域の祭りと青森ねぶた祭の規模の違いに注目させる。</p> <p>・東北地方の祭りの分布図を提示する</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">             なぜ大きな祭りが各地で行われているのだろう           </div>		
展開 ① 30分	<p><b>1. 祭りの共通点を見つけよう</b></p> <p>○4人班で話し合い、祭り資料に9つの祭りの写真シールを当てはめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・青森ねぶた祭 ・八戸えんぶり ・山形花笠まつり ・盛岡さんさ踊り・チャグチャグ馬コ・仙台七夕まつり ・秋田竿灯まつり・相馬野馬追 ・福島わらじまつり</p> </div> <p>・代表生徒が写真ボードを黒板に貼って発表する。</p> <p>○祭り資料をみて、共通することを個人で考え、付箋に記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・夏に行われている。 ・豊作を祈る行事が多い。 ・大きなもの(ねぶた、竿灯)を作っている。 ・人出が多い。 ・馬に関係している。 ・昔から行われている。</p> </div>	<p>・ワークシート、写真シールを配付する。</p> <p>・祭り資料(祭りの場所、日程、内容、起源・歴史、動員数を記載)</p> <p>◇東北地方の祭礼に関心を持ち、意欲的に学習しようとしているか。(評価①)</p> <p>○正答を確認してからシールをプリントに貼らせる。</p> <p>・付箋・A4用紙</p> <p>○1枚につき1項目書くことを伝え、ブレインストーミングでたくさん意見を出させる。</p> <p>○読み取りが苦手な生徒には、祭りを2つにしばって考えさせる。</p> <p>◇共通点を読み取り、付箋に書くことができたか。(評価②)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班の中で一人ずつ発表する。(司会が進める)</li> <li>・仕分け係が同じ、または似た意見をA4用紙に分類しながら付箋を貼る。</li> <li>・書記係は付箋を貼ったA4用紙に大きな字で共通点を書く。</li> </ul> <p>○各班の司会が共通点を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○班員の意見を否定しないよう徹底させる。</li> <li>○1つの共通点につきA4用紙を1枚使う。</li> <li>○共通点を捉えられているか確認し、困っている班の支援をする。</li> <li>○黒板に共通点を書いた紙を掲示する際、似たような意見は近くにまとめておく。</li> </ul>
<p>展開 ② 12分</p>	<p><b>2. なぜこれらの共通点が出てくるのか、視点カードを使って説明してみよう</b></p> <p>○班ごとに、出てきた共通点はどの視点カードで説明できるか考える。</p> <p>《視点カード》</p> <p>自然 産業 人口 歴史 他地域との結びつき</p>	<p>○共通点を説明しやすいよう、補助発問をつくっておく。</p> <p>《補助発問》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ豊作を祈るのだろうか</li> <li>・なぜ馬が多いのだろう。</li> <li>・なぜ夏に行うのだろうか</li> <li>・なぜ大規模にやるのだろうか</li> <li>・なぜ長い間続けられてきたのだろうか</li> <li>・なぜ大きなものをつくる必要があるのだろうか。</li> </ul> <p>◇東北地方の祭りの共通点について、5つの視点から考察できたか(評価③)</p> <p>《共通点》                      《視点》</p> <p>例①: 夏に行われる理由を、農業の視点から説明すると → 秋の稲作の収穫に向けて、豊作を願うため。</p> <p>例②: 夏に行われる理由を、産業の視点から説明すると → 夏休みを利用して観光客が多くなるから。</p> <p>例③: 人出が多い理由を、人口の視点から説明すると → 人口が減少している地域だから、大規模に行って人を集めている。</p> <p>例④: 人出が多い理由を、他地域との結びつきの視点から説明すると → 東北新幹線が開通して、訪れやすくなった。</p>
	<p>○予想したことを発表する。</p>	<p>○仮説が立てられている生徒を机間指導で確認しておき、2～3名指名する。</p>
<p>まとめ 1分</p>	<p>○次時は図書室で資料を探して仮説検証のための調べ学習を行うことを確認する。</p>	<p>○次時に向けて、補助発問で検証への意欲を高める。</p> <p>《補助発問》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に稲作が盛んなのかな?</li> <li>・本当に人口は減少しているのかな?</li> </ul>

評価

- ① 東北地方の祭礼に関心を持ち、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)
- ② 祭りの共通点を読み取り、付箋に書き出すことができたか。(技能)
- ③ 東北地方の祭りの共通点について、5つの視点から考察し、仮説をワークシートに記入できたか。(思考・判断・表現)